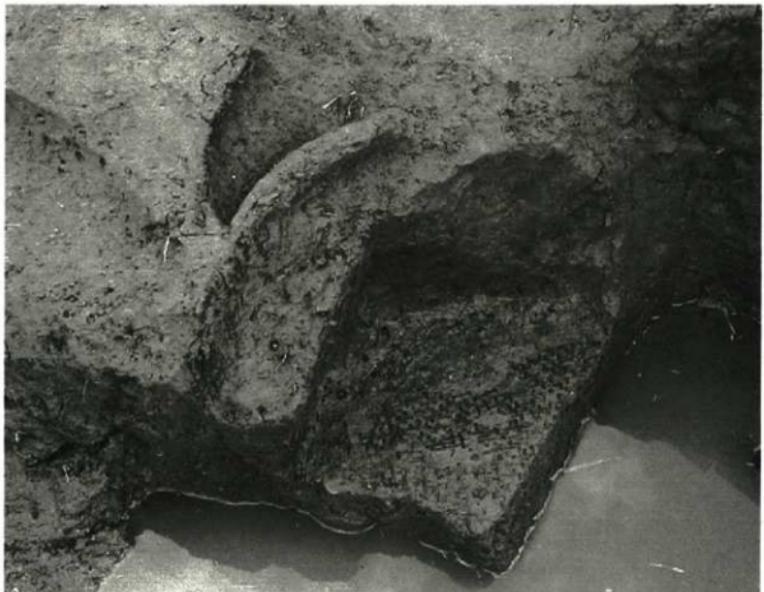


掛川市「考古の日」記念

# 出土文化財展

とき：平成11年5月28日（金）～30日（日）

ところ：掛川市生涯学習センター ギャラリー1階



縄文時代の編み物（メノト遺跡出土）

1 9 9 9

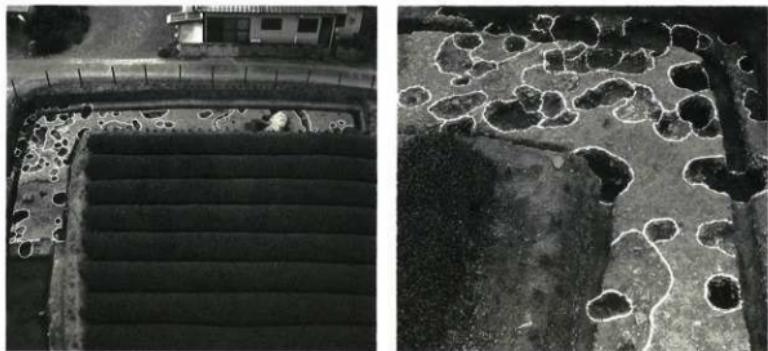
掛川市教育委員会

# メノト遺跡

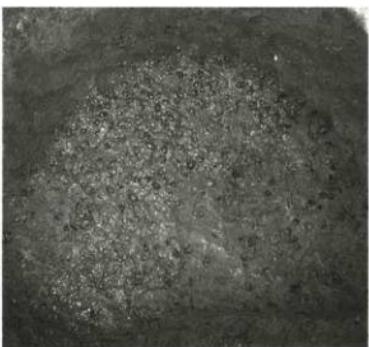
1. 調査地 掛川市八坂字影森 1122 ほか
2. 調査の原因 県営農地整備事業に伴う道路・排水路工事
3. 調査の面積 1,640 m<sup>2</sup>
4. 調査の期間 平成10年6月～平成11年1月
5. 調査の内容 隣接する栗下遺跡とともに平成9年度より調査を行いました。その結果、縄文時代の集落の一部と多くの土器片や石器、鎌倉時代の掘立柱建物跡の一部分と土器片が見つかりました。

なかでも貴重と思われるのは、縄文時代の木の実を貯蔵する穴が見つかったことで、中にドングリと編物製品が残されていました。縄文人たちにとって、ドングリなどの木の実は重要な食べ物で、秋にたくさんとれる木の実を、食べ物が少なくなる冬に備えて保存するくふうをしたようです。また、ここからは、木の実のカラを割ったり、すりつぶしたりする石の道具も出土しているので、ここで木の実の加工をしていることが考えられます。ここは、縄文人の台所といえるかもしれません。

調査では、その他、縄文時代の土製の耳飾り、まつりに使われた石棒・石剣も見つかりました。



縄文人が住んだところの一部



穴に残されていたドングリ



穴のまわりと底の編物



穴の底にしかれた編物



編物の編み方のようす



穴の底にしかれた編物（おおまかなもの）



木の実のカラをわる石の道具

# かけがわじょう 掛川城

## ぶけやしきあと (武家屋敷跡)

1. 調査地
2. 調査原因
3. 調査の面積
4. 調査の期間
5. 調査の内容

掛川市城内

新図書館建設に先立つ発掘調査

5, 000 m<sup>2</sup>

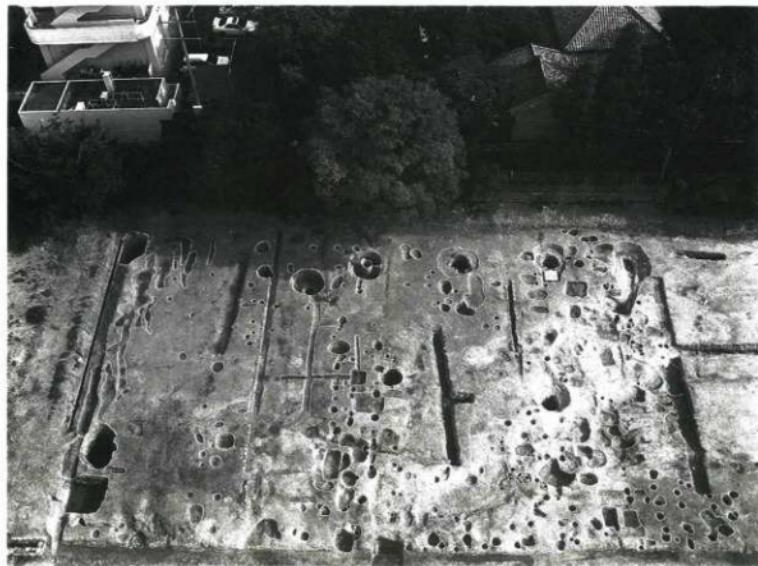
平成10年7月～平成11年6月（調査継続中）

調査では、戦国時代から江戸時代末期までの遺跡が重複していることがわかりました。

戦国時代の遺構では、掘立柱建物跡と考えられる柱穴が多数発見された他、石組みの井戸、ゴミ穴に使用された土坑、敷地を区画する溝などが発見されました。

江戸時代から明治初期にかけては、井戸・ゴミ穴・柱穴の他に建物の地盤を強化した、根固め遺構が発見されました。

遺物では、土師器・陶磁・瓦などがありますが、戦国時代の遺物の中には中国から輸入された磁器も発見されました。発見された多量のかわらけ（素焼きの器）の中には金箔が貼られたものも含まれていました。



調査区全景（東区）



調査区全景（西区）



石組み井戸



石組み井戸の断面



ゴミ穴



根固め遺構

## はら の まえ 原ノ前遺跡

1. 調査地 掛川市逆川720-1
2. 調査の原因 個人宅地造成
3. 調査の面積 280 m<sup>2</sup>
4. 調査の期間 平成10年10月
5. 調査の内容 弥生時代中期の方形周溝墓の周溝と思われる溝6本と、古墳時代と奈良時代の住居跡と思われる遺構が各1軒見つかりました。



調査地全景



周溝と奈良時代の住居跡

## どうやま 堂山遺跡

1. 調査地 掛川市原里
2. 調査の原因 県道改良工事
3. 調査の面積 104 m<sup>2</sup>
4. 調査の期間 平成11年2月～3月
5. 調査の内容 調査では古墳時代前期の土器片と柱穴などが見つかり、古墳時代前期の集落跡があることがわかりました。



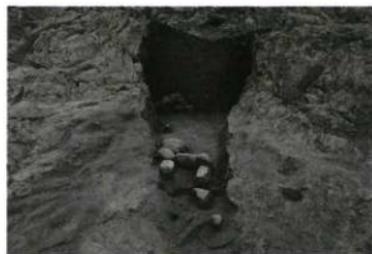
確認調査の状況



発見された土器片

てら が や よこあなぐん  
**寺ヶ谷横穴群**

1. 調査地 掛川市下俣29-21ほか
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 400 m<sup>2</sup>
4. 調査の期間 平成10年12月～11年3月
5. 調査の内容 調査では、横穴墓を1基確認し、横穴内から7世紀末から奈良時代前半ころに位置づけられる土器が1点みつかりました。この横穴の特徴は、横穴の入り口に木の板をはめるための溝があることです。



排水溝の蓋石と横穴墓全景



横穴墓入り口にある木の板をはめる溝

下に遺跡はありませんか？

工事計画の前に確認して下さい

現在、掛川市には519もの遺跡があり、県内でいちばん遺跡の多い市だといわれています。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの「心のふるさと」ともいわれ、後世の人たちに伝えていくことが大切です。

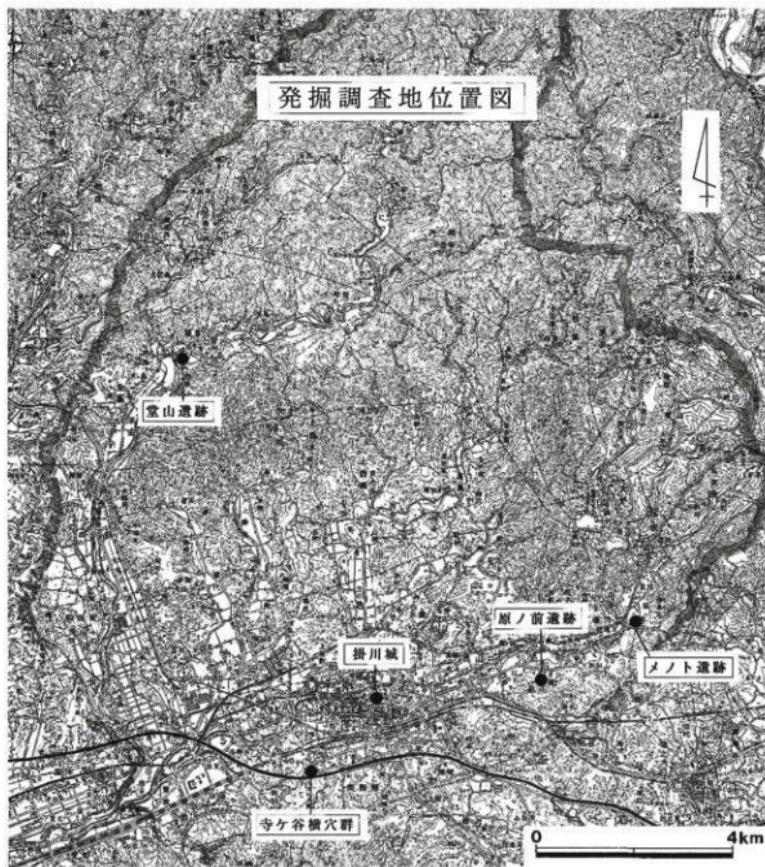
このため、「文化財保護法」で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられています。

工事のため申請したが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった——ということがないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会文化課にご相談ください。

なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。

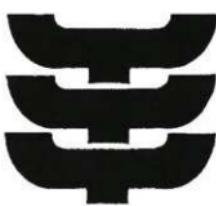
計画する前にぜひ確認してください。

掛川市教育委員会 文化課 文化財係 TEL (0537) 21-1158



### 掛川市「考古の日」

明和 9 年 5 月 21 日（陰暦）現在の長谷字小出ヶ谷地区において、銅鐸一口が発見され、掛川藩に届出されました。これが現在の文化財保護法の遺物の発見届と同じことで、この日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理解と、これらを保護・保存しようとする意識の向上を願い、毎年 5 月 21 日を掛川市「考古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク